

## 1. 活動報告（事務局 記）

—5月3日（日）① 駐車場とたんぼゾーン、池ゾーンの草刈りをしました。

② 湿地帯エコアップ。

参加者は17名で宇部環境技術センターの3名の応援があり広範囲に草刈が出来安全に散策できるようになりました。

—5月16日（土）① エコアップ 湿地帯のタテバ血止め草の間引き、

池ゾーンのアサザ間引き等々の作業

② 市道土手、水路土手の草刈り及び水路の泥上げ作業

③ 駐車場の前回刈り取った草焼作業

会員17名と応援（山大生関根教室3名、環境技術センター3名）でした。

—5月16日（土）午後、市道の刈った草、落ち葉の片付け、エコアップ刈り取りスゲ草焼却

—5月20日（水）宇部市「たんぼぼの会」会長 柴田さん他17名 田村、北村、原田マご案内

## 2. 今後の予定（事務局 記）

◎ 見学者

—6月 6日（土）フジとキララネットこどもエコクラブ 吉富由起子さん他20名

—6月13日（土）福川こどもクラブ 大野教正さん他30名

—6月19日（金）宇部西高校 園芸科関係担任先生方 田村先生他20名

◎ 行事

—6月7日（日）維持活動：エコアップ、草刈り

—6月17日（水）田植え準備 代掻き

—6月19日（金）田植え準備 泥もち整地、綱とり

—6月20日（土）田植え 膝癒し

午後の里山自然観察隊：夏の観察（野草と昆虫）

## 3. 来訪者の声（東屋のノートより一部抜粋）

- 4月29日 - はれ

今年も「昭和の日」でやってきました。子供4人のうち、下2人（去年と同じ）

をつれて、今年は妻が弁当を作ってくれ、昭和山の登山口の昭和園でシートを敷き、ゆっくり食べて来ました。来年は3番目の子供が中学生になるので、来れるかどうか・・・でも静かで鳥の鳴き声と水の流れる音が心地よいです。いい気持ちになりました。 今井恵二郎

- 5月20日 -

ボランティアサークル たんぼぼの会 会員18名訪ねました。

会員、全員久しぶりに土の上を歩き気持ちよく過ごさせていただきました。ビオトープの言葉は知っていましたが見学は初めてでとても勉強になりました。私個人としては、ぜひ孫を連れて来たいと思います。

#### 4. 会員の声 「息抜きの場所」 (吉崎 礼子 記)

私事ですが、来月広島に引っ越すこととなり、ピオトープの活動に参加できるのは今月が最後となりました。2年と少し、会員として活動してきましたが、田植えやそば刈り、山菜採りなど、初めてのことばかりで大変いい経験をさせてもらいました。また、草刈りや外来種除去といった作業では、何も考えずに、と言ったら怒られそうですが、無心になれる心地よい時間だったように思います。お役に立てることは少なかったかもしれませんが、私自身はすごく楽しませてもらいました。向こうに行っても、なにかしらこういう活動に参加していきたいと思っています。

会員数の減少や高齢化で、いろいろ課題も多いと思いますが、自然豊かで、のんびりした里山ピオトープがこれからも続いていくことを願っています。短い間でしたがありがとうございました。

(吉崎 礼子 記)

#### 5. ピオトープ関連 (ピオトープのトンボたち) (管 哲郎 記)

##### (12) サラサヤンマ (ヤンマ科) *Sarasaeschna pryeri* (Martin)

クロスジギンヤンマに続き早春から初夏にかけてみられる小型のかわいいヤンマです。クロスジギンヤンマは樹林に囲まれた小さめの池の上空をパトロール飛行しますが、本種は水上よりもむしろ林間の開けた草地や湿地、人のあまり通らない農道の上や空き地の上空を低空でホバリング飛行します。

同じ場所をほぼ同じ高度(約1m~3m)でぐるぐると廻りますし、驚かさぬようにそっと近づけば逃げる心配もありませんので、観察したり飛行の撮影をしたりするにはもってこいの被写体です。運がよければそのうち近くの木や枝などに休止することがあります、その時もシャッターチャンスとなります。

低空で1~2秒ほど停止したりするので、捕獲は簡単です。それゆえかわいそうになって必要数以上は採らないようにしています。年々数も減少しているようで、見かける数も少なくなったようです。

日本特産種で日本全土に生息しますが、北海道や東日本ではあまり見られないようです。

参考文献 杉村光俊・小坂一章・吉田一夫・大浜祥治、

2008. 中国・四国のトンボ図鑑. 255pp. ミナミヤンマ・クラブ、東京.



サラサヤンマ (♂)



サラサヤンマ (♀)



サラサヤンマ (♂) 未熟



サラサヤンマ (♂) ホバリング飛翔

## 7. 会よりの連絡事項 (事務局より)

退会者の報告

大村美智子さん 体調不良のために退会されます。創設以来の活動参加でした、長い間ご苦労様でした。

吉崎礼子さん 宇部環境技術センターを退職され福山市に転職されます。新職場で元気で頑張ってくださいと思います。

## 8. 編集後記

エコアップの担当になって、週1回のペースでビオトープに通っています。気になったのは、なぜか湿地帯の水位が低いこと。私の気のせいかなと思っていると、編集長からもメールでの指摘がありました。事務局に原因を聞いてみると、水路から池に入る取水口に落葉が溜まるとのこと。

連休明けにビオトープに行き、例の取水口を見ると、案の定、落葉などが溜まり、池への水の流入は殆どありません。落ち葉を取り除くと、勢いよく水路からの水が、池に流れ出します。しかし帰り際に取水口を覗くと、落葉が2~3枚ひっかかっています。1時間も経っていないのに。

前回の参集日に溝普請をおこない、水路も少しはきれいになりました。また下流で水が使われるようになり、水路の水量が増えることにより目詰まりが解消することを期待します。池・湿地帯は水質の維持のために、少しずつでも水の入れ替えが必要であると考えています。皆さんも、参集日以外にビオトープに行かれた際、取水口等に何か引っ掛かっていたら、取り除いて水の流れを良くして下さい。

( 前田 歳朗 記 )

美濃和さんに続いて今月で吉崎さんが引越しの為活動を最後とされる事になりました。今まで色々な活動に参加され、汗を流し泥にまみれて、又今年度の自然観察隊での活躍も期待されていましたがとても残念です。でも吉崎さんの後に若い力がつながらる様に活動に参加して下さい方を紹介。よろしくお願ひします。新転地でも体に気をつけて頑張ってください。時にはビオトープ二俣瀬を思い出して下さい、ありがとう……

( 松本 フデ子 記 )